

皐月の空を悠然と舞い泳ぐ鯉の姿に初夏の訪れを感じる季節になりました。こんな日々が続いてくれればいいんですが、今年もまた酷暑、激暑の夏がやって来ると思うとゾッとしますね。「異常気象」という言葉も今や過去の表現となり、異常が通常と言われる昨今です。気候の荒れだけならまだしも、次第に人々の心まで荒んで来ているなと感じるのは僕だけでしょいか？

人の心には二つの扉があります。一つは天使の扉で、もう一つは悪魔の扉です。そして残念な事に悪魔の扉の方が少しだけ開き易くなっているようです。だからこそ僕たちのように表現を生業とする者は、いつも天使の扉をノックする作品を作り続けて行かなければいけないと、いつも自らに言い聞かせています。

さて、今日は七月公演のご案内をさせていただきます。過日「ハタ伝」という映画が話題になりましたが、その原本を書いた曲亭(滝沢)馬琴と、その息子、宗伯の嫁として滝沢家に嫁いで来たお路という天真爛漫な女性のお話です。

馬琴は28年間の歳月をかけて「南総里見ハタ伝」を書き上げましたが、途中からは「そこひ」を患い視力を失っていきます。そんな馬琴を助けて小説を書き上げさせたのが、文盲で嫁いで来たお路でした。お路は、ひと文字ひと文字、漢字を習い覚え懸命に口述筆記を続け、ついには小説を完成させたのです。

現存する膨大な馬琴の日記をもとに創作した吉永仁郎の傑作時代劇にどうぞご期待ください。

また今回は「ゲネプロ体験会」を企画してみました。ゲネプロとはゲネラルプロベ (General probe) の略語で、本番と同じ条件で行う最終リハーサルを意味するドイツ語です。お楽しみいただければ幸いです。

それでは亀有の劇場でお待ちしております。感謝！

やっ 辰・健